

## 4月には消費税引き上げ、個人消費拡大の期待も薄く・・・ 2014年の景気「横ばい」が62.2%

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の134社、2位が「原材料価格の上昇」の82社。「ニーズの変化への対応」が56社で3位。
- ★ 「平成26年4月より消費税が5%から8%になりますが、価格設定はどうしますか」について、60.7%（145社）が「増税分（3%）を価格に転嫁する予定」と回答。「価格に転嫁しない（できない）」15.9%（38社）と「まだ決めていない」15.9%（38社）をあわせ31.8%（76社）がスムーズな価格転嫁が出来ない可能性も。「一部を価格転嫁する予定」と回答したのは7.5%（18社）。
- ★ 「現在の雇用人員」について、68.2%（163社）が「適正」と回答。「不足」が28.0（67社）で、「過剰」が3.8%（9社）。

平成25年10～12月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

### 三次商工会議所

平成26年1月に実施した第95回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。

本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が95回目。

市内の500事業所を抽出し、集計企業数は244社（小売業70社、卸売業29社、製造業37社、建設業57社、運輸・交通業19社、観光・サービス業32社）で回収率は48.8%。

### 【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲0.8と、3ヶ月前の前回調査から5.7ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の2.5%、「やや好転」が23.1%で、逆に「やや悪化」が21.9%、「かなり悪化」が4.5%だった。同様に、売上D.Iも5.0ポイント改善して4.1。採算D.Iも9.2ポイント改善して▲13.7。原材料（商品）仕入価格は42.1から45.0と依然として高値で推移している。前回調査同様、業況D.Iがマイナス1桁台を示したが、2期以上続けてマイナス1桁台であったのは、平成7年3月期以来、18年ぶり。

また、売上D.Iが今回プラスの値（0.0を除く）を示したが、これは平成8年12月期の0.8以来17年ぶりのこと。

今回事業所に対し、「2014年の景気見通し」について尋ねたところ、「踊り場（横ばい）」が62.2%（150社）と過半数を占めた。「悪化する」としたのは28.0%（67社）で、「回復する」としたのはわずか7.5%（18社）。また、「従業員への冬のボーナス支給」について「支給した」のは62.9%（146社）で、前年同時期調査61.9%（140社）とほぼ同じ。ボーナス支給は、今後の個人消費を占ううえで大きな要素であるが、例年以上の期待は薄く、4月には消費税引き上げが行われることもあり、今回の調査では近年にない景気に対する高揚感はあるが、景気の先行きに対しては不安が払拭出来ていない結果となった。

#### ※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

**業況**は、全業種合計で今期▲0.8。業種別では、観光・サービス業を除く5業種で改善。うち製造業、建設業、運輸・交通業の3業種はプラス値。中でも、建設業は9.3→14.0と2期連続のプラス値。唯一悪化した観光・サービス業も▲3.7→▲6.7と数値的には、改善傾向を示した小売業よりも良い。

**売上**は、全業種合計で今期4.1。業種別では、卸売業、建設業を除く4業種で改善。ただ、卸売業と建設業は前回に続きプラスの値を示しており、製造業、運輸・交通業を含めこの4業種でプラスの値を記録。

**原材料(商品)仕入価格**は、全業種合計で今期45.0と引き続き高値で推移。中でも、数は少ないものの運輸・交通業では72.2と燃料費が上昇しているように思われる。

**採算**は、全業種合計で今期▲13.7。業種別では、卸売業を除く5業種で改善。業況、売上のようにプラスの値を示した業種はなかったが、製造業が▲8.1、建設業が▲1.8、運輸・交通業が0.0と3業種で0からマイナス1桁台を記録。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)

・需要の停滞		134社
・原材料価格の上昇		82社
・ニーズの変化への対応		56社


【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】

・過剰		9社(3.8%)
・適正		163社 (68.2%)
・不足		67社(28.0%)

【2014年の景気見通しについてどのようにお考えですか？】

・回復する		18社(7.5%)
・踊り場(横ばい)		150社(62.2%)
・悪化する		73社(30.3%)

【平成26年4月より消費税が5%から8%になりますが、価格設定はどうしますか？】

・増税分(3%)を価格に転嫁する予定		145社(60.7%)
・一部を価格に転嫁する予定		18社(7.5%)
・価格に転嫁しない(できない)		38社(15.9%)
・まだ決めていない		38社(15.9%)

【従業員に冬のボーナス(賞与)を支給しましたか？】

・支給した		146社(62.9%)
・支給しない		86社(37.1%)

※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 0.8	▲ 19.0
小売業	▲ 14.3	▲ 32.9
卸売業	0.0	▲ 10.3
製造業	2.7	▲ 21.6
建設業	14.0	▲ 10.5
運輸・交通	5.3	15.8
サービス業	▲ 6.7	▲ 30.0

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	4.1	▲ 16.9
小売業	▲ 7.2	▲ 23.9
卸売業	3.4	▲ 10.3
製造業	10.8	▲ 21.6
建設業	10.5	▲ 18.2
運輸・交通	22.2	11.1
サービス業	0.0	▲ 16.7

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

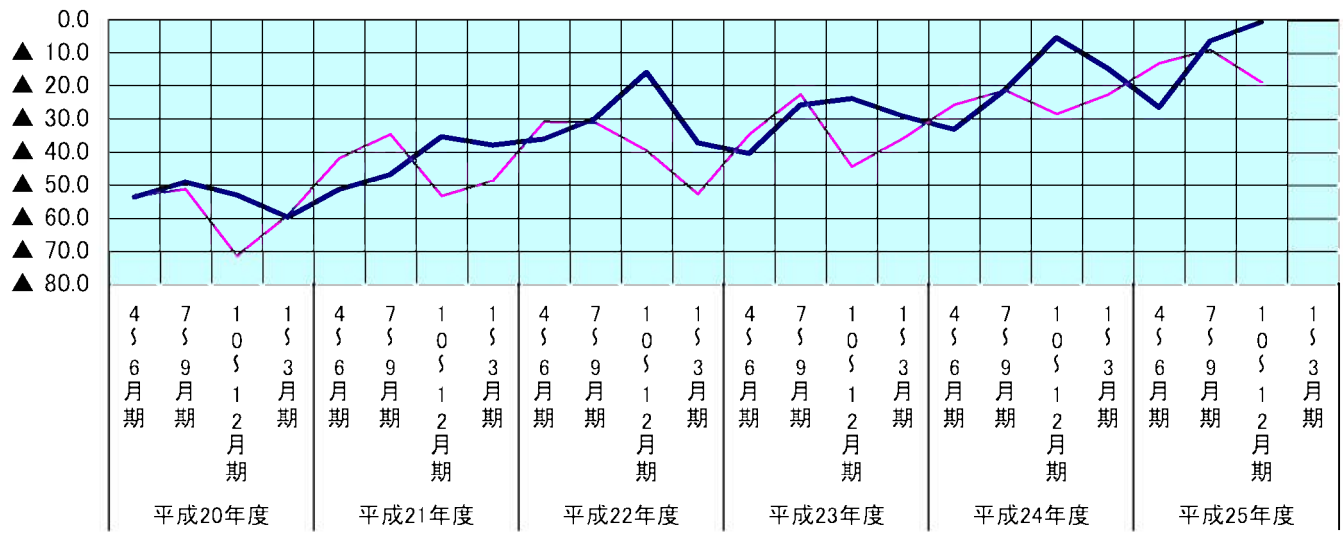
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 13.7	▲ 28.3
小売業	▲ 27.1	▲ 36.2
卸売業	▲ 20.7	▲ 20.7
製造業	▲ 8.1	▲ 27.0
建設業	▲ 1.8	▲ 27.3
運輸・交通	0.0	▲ 5.6
サービス業	▲ 12.9	▲ 34.5

(好転割合－悪化割合)

# 全業種

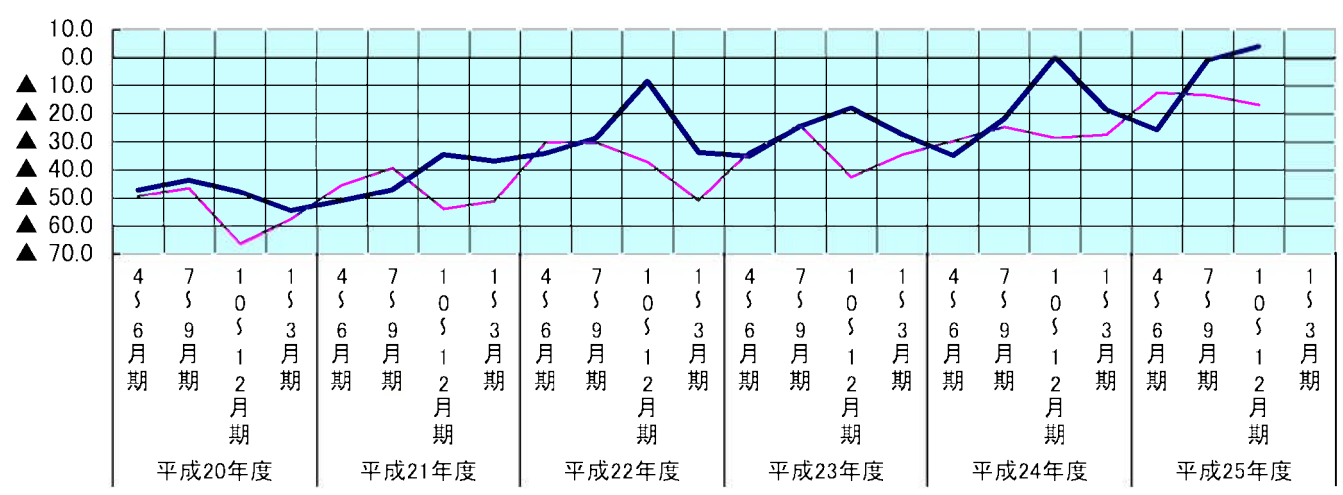
## 業況D.I.の推移

— 前期比 — 来期見通し



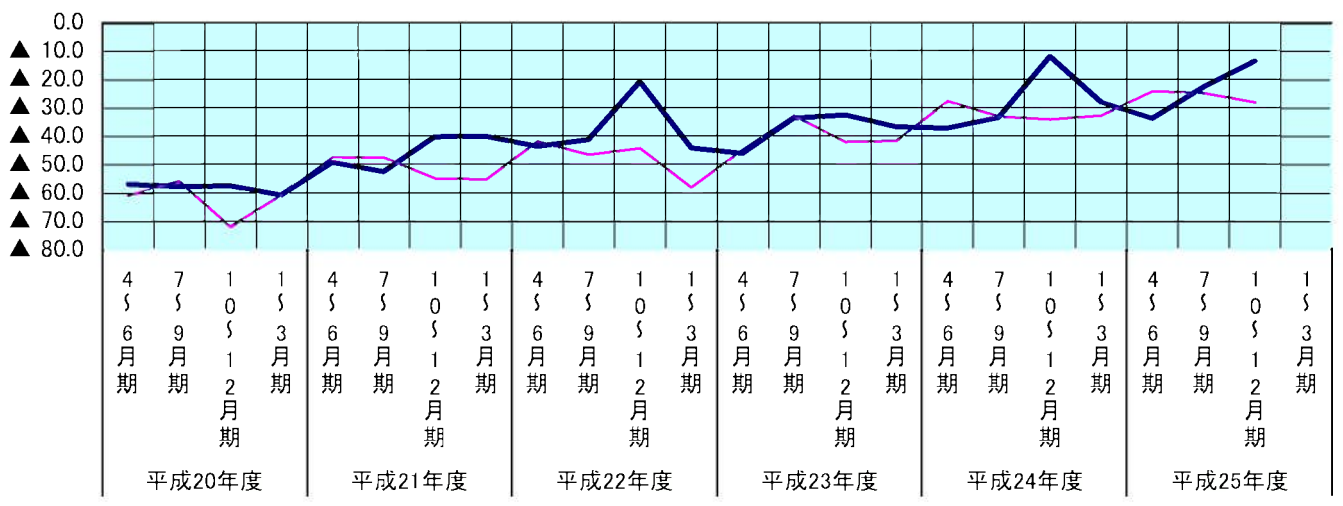
## 売上D.I.の推移

— 前期比 — 来期見通し



## 採算D.I.の推移

— 前期比 — 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い